

■ 1960年代ロンドンの変革とカウンターカルチャーを捉えた貴重な資料

# 『ロンドン・ライフ』1965-1966年 London Life, 1965-1966

## 「スウィング・シックスティーズ」における英国の社会・文化の変革

1965年に創刊された『London Life』は、The Illustrated London News (ILN) 傘下の雑誌の一つでした。本誌は、1901年に創刊され、主に裕福で保守的な読者層を対象としてきた『The Tatler (1901-1965)』の後継誌として登場しましたが、その内容は前身とは大きく異なり、画期的な変化を遂げました。『London Life』は「ロンドンのあらゆる側面を反映する」ことを目指し、短い発行期間ながらも、世界の「クール之都」であるロンドンの「スウィング・シックスティーズ」の精神を見事に伝えました。

本コレクションには、1965年10月から翌年12月までに発行された London Life の全63号が収録されており、約5,000点の画像を含んでいます。

『London Life』は音楽や映画、セクシュアリティ、ロンドンのウェストエンドの活気あるナイトライフなど、多岐にわたるテーマを扱っています。同時に、イギリス社会のますます国際色豊かな側面を捉え、より多様化するメディア環境とその読者層の変化を記録しています。ポール・マッカートニーやミック・ジャガーといった文化的アイコンのインタビューに加え、スーパーモデルのジーン・シュリンプトンやエンターテイナーのアニタ・ハリスといった新進気鋭のスターによる寄稿も掲載されており、1960年代のカウンターカルチャーを象徴する雑誌となっています。したがって、本コレクションは文化史、特にイギリスの文化革命を研究する研究者や学生にとって貴重な資料となるでしょう。



### 大学・学術機関向け価格

FTE (学生数+教職員数)	3,000~4,999	5,000~9,999	10,000~19,999	20,000~29,999	30,001 以上
Archive 買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください				

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの**年間管理費 (Annual Hosting Fee)**は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

**トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで**

日本総代理店 **極東書店**

**FAR EASTERN BOOKSELLERS**  
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル  
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル  
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761  
075(353)2093 FAX (353)2096  
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)





■年別に2つのパートに整理したコレクション



1960年代のイギリスは、社会的・文化的に大きな変革の時代でした。この10年間で、男女関係、市民権、ファッションに大きな変化が見られ、また、性に対する考え方、急進的な政治、メディアの役割についての意識も変化しました。

Mark Boxer (漫画家であり、『サンデー・タイムズ』の創刊編集者)の指揮のもと、『London Life』は1960年代ロンドンの流行とボヘミアンな文化の両方を捉えていました。1966年5月に開かれた『London Life』のパーティーには、女優のジューン・アッシャー、ローリング・ストーンズのリードボーカルであるミック・ジャガー、画家のデイヴィッド・ホックニーといった著名なセレブリティが招待されました。

20世紀半ばまでに、イギリスはより国際色豊かな国へと変わりつつありました。『London Life』は当時のイギリス社会の多文化化を反映し、ロンドンのレストランシーンの多様性を紹介するだけでなく、新たなメディアの受け手が形成されていく様子も伝えています。例えば、南アジア系の視聴者やリスナーを対象としたテレビやラジオ局についても言及されています。

また、消費社会の台頭とともに、広告はより目立つ存在となり、創造性を増していきました。本コレクションには、1960年代の「広告革命」について貴重な洞察を提供する広告が多数収録されており、シャネル、カルティエ、ハロックス、メルセデス、ソニーといった主要ブランドの象徴的な広告のほか、タバコ産業やアルコール業界の広告も含まれています。

デザイナーのアン・タイレルは、「1960年代の雰囲気は忠実にファッションに反映され、その時代精神そのものを体現していた」と語っています。その言葉通り、『London Life』は読者に最新のトレンドを提供し続けました。また、「スウィング・ロンドン」の象徴的存在であるスーパーモデルのジーン・シュリンプトンが、ファッションや食に関する記事を執筆し、誌面に貢献していました。

さらに、都市の貧困、10代の妊娠、メンタルヘルスといった社会問題を扱う記事も掲載されており、『London Life』は1960年代の華やかさを描くだけでなく、イギリス社会に根強く残る不平等や差別の実態も浮き彫りにしています。例えば、1965年10月9日号では、小説家のV・S・ナイポールが「クール之都」としてのロンドンの排他的な側面や、近代都市の抑圧的な性質について論じています。



British Online Archives の詳細お問い合わせは弊社まで

 日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)